

2010. 2. 28 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル
中目黒キリスト教会
聖別会マンスリー



2010年

<ジョン・オズワルト著 『聖』を生きる人々>

②「聖と契約」

テキスト：

「あなたの足の靴を脱げ。あなたの立っている場所は、聖なる地である。」（出 3:5）

A. 旧約聖書の大切さ

- ・旧約聖書をしっかりと理解しないと、「クリスチャンは完全でなくても、罪人のままでも良い。未信者との違いは『赦されている』事だけだ。」というような、皮相な福音理解に陥る。
- ・旧約聖書は、人間の罪と罪への解決、人間の性質と神の性質という大切な問題を扱っている。

B. 契約と神の聖

- ・神は、ご自分を「契約」という仕組みの中で示された。契約概念そのものは、モーセ時代の他の周辺民族に存在した。しかし、神の契約内容は、周辺民族のそれとは、基本的に違っている。
- ・「契約」の利点は、その契約に適った歩みをすることで、民が神のご性質（特に、真の神は唯ひとりであることを）を学ぶことであった。
- ・「神と民との契約」という形で、絶対者なる神がご自分の義務を引き受けなさると言う点でも、他の神々の契約とは異なっていた（創世記 15:9-21）。
- ・「聖」の基本的概念は、神が、造られた世界とは全く別存在であることを示すことである（出 3:5、8:10、20:3-7、申命記 4:35）。

C. 神の恵み（聖の具体的特質①）

- ・ 罪を犯した人が、聖なる神との交わりを回復するためには、神の側から伸ばされた橋が必要である。それが「神の恵み」である（創世記 6:8）。
- ・ 恵とは、神が礼拝者に何かを要求する前にまずご自身を与えられる事である（創世記 12:1-3）。
- ・ この恵み（への信仰）によって、イスラエルは救われた。「恵みによる救い」は、旧約のメッセージである（出 3:7-8、捕囚期に、律法主義にすりかえられたが・・・）。
- ・ モーセが燃える柴で見た主は、「世界から隔絶しておられる神が、その民を恵みによって救う」お方であることを示す。

D. 契約と道徳的義（聖の具体的特質②）

- ・ 契約の中の決まりごとは、聖い神と人とが交わりの中を歩むための条件である（出 19:3-6、1 ヨハネ 1:6）。
- ・ 生贖の制度は、人が神と近づくためには、継続的な贖いなしに不可能であることを示す（レビ 17:11、ヘブル 9:22）。
- ・ 日常生活（食べ物、安息日、父母への敬い、貧しいものへの配慮、真実さ）に関わる規定は、それを守ることで、神の性質を学ぶためである（レビ 11:44、19 章全体）。

**“Holiness unto the Lord” is our watchword and song;
“Holiness unto the Lord” as we’ re marching along.
Sing it, shout it, loud and long;
“Holiness unto the Lord” now and forever.**